

プラド美術館展

ベラスケスと絵画の栄光

VELÁZQUEZ AND THE CELEBRATION OF PAINTING: THE GOLDEN AGE IN THE MUSEO DEL PRADO



1) ディエゴ・ベラスケス《王太子バルタサル・カルロス騎馬像》

1635年頃 マドリッド、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado

本展のみどころ

1. プラド美術館のコレクションの「真髄」を紹介。

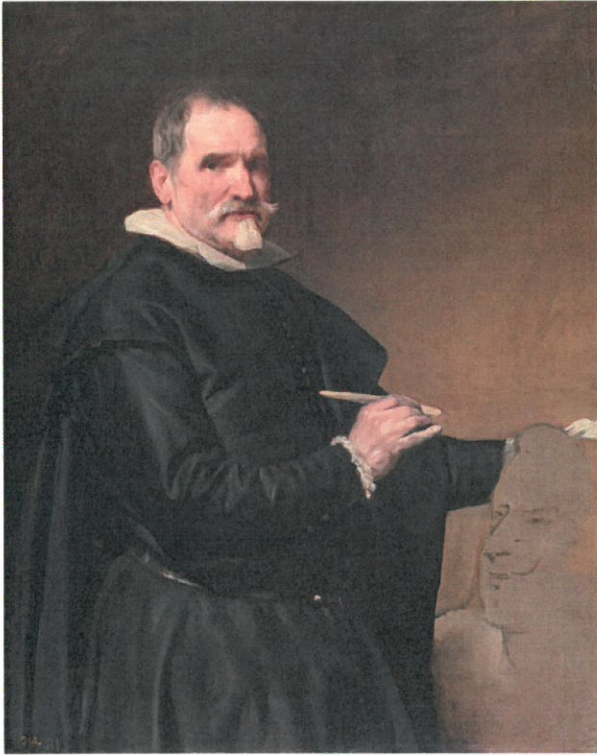
歴代スペイン国王のコレクションを核として 1819 年に開設された世界有数の美の殿堂、プラド美術館の真髄である 17 世紀絵画のコレクションを紹介します。

2. 本邦初を含む、巨匠ベラスケスの傑作 7 点が出品。

スペインのみならず西洋美術史上最も傑出した画家であるディエゴ・ベラスケス (1599-1660) の重要作品 7 点が出品されます。これまで日本で公開されてきた中では過去最多の作品数であり、まとまった数で貸し出される機会が極めて稀なベラスケスの作品を鑑賞する貴重な機会となります。

3. 国王たちが築いた絵画の「黄金時代」。

17 世紀のスペインでは、国王たちにより未曾有の規模で芸術の擁護と収集が進められ、絵画の「黄金時代」を迎えました。スペインだけではなくイタリアやフランドルの絵画作品もあわせ、当時のマドリッド及びスペインの国際的なアートシーンを再現します。



2) ディエゴ・ベラスケス《フアン・マルティネス・モンタニェースの肖像》
1635年頃 マドリード、プラド美術館蔵
© Museo Nacional del Prado



3) ディエゴ・ベラスケス《メニッポス》
1638年頃 マドリード、プラド美術館蔵
© Museo Nacional del Prado



4) ディエゴ・ベラスケス《マルス》
1638年頃 マドリード、プラド美術館蔵
© Museo Nacional del Prado



5) ディエゴ・ベラスケス《狩獵服姿のフェリペ4世》
1632-34年 マドリード、プラド美術館蔵
© Museo Nacional del Prado



6) ディエゴ・ベラスケス《パリエーカスの少年》
1635-45年 マドリード、プラド美術館蔵
© Museo Nacional del Prado



7) ディエゴ・ベラスケス《東方三博士の礼拝》
1619年 マドリード、プラド美術館蔵
© Museo Nacional del Prado

巨匠ベラスケス、ここに注目

◆巧みな空間表現

ベラスケスの作品では、描かれた空間と現実空間とが交錯するかのよう巧みに仕組まれた空間表現がみられます。描かれた人物とその人物が見つめる人物、絵を見る私たちなど、さまざまな視線の存在を意識せずにはられない、現実空間と地続きのように構成された空間表現がベラスケスの大きな特徴といえるでしょう。

◆率直さと明快さ、優雅さを兼ね備えたリアリズム

ベラスケスは、国王であれ、国王に仕える矮人や道化であれ、美化することなく等しく率直な眼差しを注ぎました。彼は、対象を尊厳ある一個の人間として眺め、すぐれた洞察をもってそれぞれの個性を描き出しました。また古代の偉大な哲学者や神話の神々を描く際には、理想化された姿形ではなくどこにでもいる市井の人々のような姿で描いています。気取りのないこれらの人物像は、身近で親しみやすい存在として私たちに訴えかけてきます。

◆印象派の先駆ともいべき色づかいと筆触（タッチ）

ベラスケスの作品は、細部の緻密な描写によるリアリズムではありません。近くで見るとかたちを成さない、一見色の染みにしか見えない筆触（タッチ）が一定の距離を置いて眺めたときに像を結ぶような卓越した手法で描かれています。光や空気によって変化する対象の色彩や輪郭をとらえようとする極めて近代的なもの見方が根底にあり、ベラスケスが19世紀にエドゥアール・マネによって「発見」されたという事実はベラスケスの先見性、近代性を象徴している出来事といえるでしょう。

ディエゴ・ベラスケス (1599-1660)

- 1599年 6月6日、スペイン、セビーリャに生まれる
- 1611年 フランシスコ・パチェーコの工房に入り、徒弟修業を始める
- 1617年 徒弟修業を終了。画家試験に合格し、セビーリャの画家組合に加入
- 1618年 師、パチェーコの娘ファナと結婚
- 1622年 最初のマドリッド旅行に出発(4月～翌年1月)
- 1623年 スペイン国王フェリペ4世の国王付き画家に任命される
- 1627年 国王の私室取次係に任命される
- 1628年 マドリッドに來訪したフランドル人画家ペーテル・パウル・ルーベンスと知己を得る
- 1629年 第一次イタリア旅行に出発(1631年帰国)
- 1634年 プエン・レティーロ宮の装飾事業に携わる
- 1636年 トーレ・デ・ラ・バラダのための作品の制作を始める
- 1643年 王室侍従代に任命される
- 1649年 第二次イタリア旅行に出発(1651年帰国)
- 1652年 王室配室長に任命される
- 1656年 この頃《ラス・メニーナス》(プラド美術館)を制作
- 1659年 サンティアゴ騎士団への加入が認められる
- 1660年 西仏国境のフェザン島にて、王女マリア・テレサとフランス国王ルイ14世の婚礼会場の設営を監督
マドリッド帰還後の8月6日死去



イラスト/© 2017-2018 瀧口希望

展覧会概要

1819年に王立の美術館として開設されたプラド美術館(スペイン・マドリッド)は世界屈指の美の殿堂として知られています。歴代スペイン王によって収集された収蔵品は、ベラスケスやスルバラン、ムリーリョらスペイン人画家による絵画のほか、イタリア、フランドル絵画などヨーロッパ美術の粋を示す第一級の作品から成り、ハプスブルクとブルボンのスペイン王朝の栄華を今に伝えています。本展は、17世紀スペインを代表するのみならず西洋美術史上最も傑出した画家のひとりであり、後世の印象派の画家たちにも大きな影響を与えたベラスケスによる初来日作品を含む7点の重要作品を中心に、イタリアやフランドル絵画をあわせ、61点の油彩画と9点の資料で17世紀スペイン宮廷をめぐる美術を紹介するものです。プラド美術館の核となるベラスケスと17世紀絵画のコレクションを通してスペイン黄金時代の社会と文化に触れる貴重な機会となります。



参考)《ラス・メニーナス》など、ベラスケスの傑作群が展示されたプラド美術館第12室
 © Museo Nacional del Prado

【出品内容】 プラド美術館所蔵のベラスケスの作品7点を含む油彩画と資料計70点

開催情報



イラスト/© 2017-2018 瀧口希望

日本スペイン外交関係樹立150周年記念／兵庫県政150周年記念事業 プラド美術館展－ベラスケスと絵画の栄光－

【会 期】2018年6月13日(水)～10月14日(日)

▽開館時間＝午前10時～午後6時(金・土曜日は午後8時まで) 入場は閉館30分前まで

▽休館日＝月曜日 ※祝休日の場合は開館し、翌火曜日休館。

【会 場】兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1[HAT神戸内] TEL:078-262-0901 <https://www.artm.pref.hyogo.jp>

【主 催】兵庫県立美術館、プラド美術館、読売新聞社、読売テレビ

【後 援】スペイン大使館、伊藤文化財団、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、Kiss FM KOBE

【特別協賛】キャノン

【協 賛】花王、損保ジャパン日本興亜、大日本印刷、大和証券グループ、大和ハウス工業、東レ、三井物産、岩谷産業、きんでん、非破壊検査

【助 成】TKG Foundation of Arts & Culture、みなと銀行文化振興財団

【特別協力】日本教育公務員弘済会兵庫支部

【協 力】イベリア航空、日本貨物航空、ヤマトグローバルロジスティクスジャパン

【観覧料】一般1,600(1,400)円、大学生1,200(1,000)円、70歳以上800(700)円、高校生以下無料

※カッコ内は前売り及び20名以上の団体料金。前売券は4月10日(火)から6月12日(火)まで販売。70歳以上は前売りなし。

※6月の平日は大学生無料(要証明)。

※障がいのある方(70歳以上を除く)は各当日料金の半額、その介護の方1名は無料。

※大学生、70歳以上の当日券の購入及び障がい者割引の適用には証明が必要。割引を受けられる方は、会期中に美術館窓口で観覧券をお買い求めください。

※県美プレミアム展は別途観覧料が必要(本展と合わせて観覧される場合は割引あり)。

【チケットの主な販売場所】兵庫県立美術館ミュージアムショップ(前売りのみ)、阪神(当日一般のみ)・近鉄主要駅、ローソンチケット(Lコード:57900)、セブンチケット、チケットぴあ(Pコード:768-749)、イープラス、楽天チケットなど主要プレイガイド、コンビニエンスストア

【おトクなチケット情報】①早割りペアチケット2,600円

※一般のみ。ローソンチケット限定(Lコード57900)で3月1日(木)から4月9日(月)まで販売

②ミニ図録付チケット2,500円

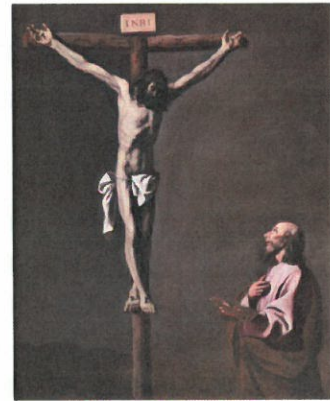
※一般前売券1枚と本展ミニ図録(定価1,300円)、オリジナルポストカードがセットになったチケット。イープラス限定で4月10日(火)から6月12日(火)まで販売

【公式サイト】<http://prado2018.yomiuri.co.jp/>

主題別に7つの章で展示し、各章(第6章を除く)にベラスケスの作品が含まれます。ベラスケスがそれぞれの主題をどのように絵画化したのか、その独創性に焦点をあて、表現の特徴を明らかにします。ベラスケスの作品を核に、17世紀スペイン宮廷の国際的アートシーンが一望できる構成となっています。

第1章 芸術

17世紀スペインでは「芸術」に対する意識や関心が高まり、芸術そのものをテーマとする作品が数多く制作されました。芸術は高貴な知的行為であるとされ、画家や彫刻家たちは芸術制作を自由学芸として示し、社会的評価を向上させようとしました。この章では、芸術家の自画像や、芸術が持つとされた神秘的な効果や魔術的な機能を主題とする作品、芸術家の創造活動と神の創造とを類比してとらえた作品などを紹介します。



8)

- 8) フランシスコ・デ・スルバラン 《磔刑のキリストと画家》
1650年頃 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado



9)

- 9) アロンソ・カーノ 《聖ベルナルドゥスと聖母》
1657-60年 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado



- 10) ヤン・ブリューゲル(父)、ヘンドリック・ファン・バーレン、ヘラルト・セーヘルスら
《視覚と嗅覚》1620年頃 マドリード、プラド美術館蔵
© Museo Nacional del Prado

第2章 知識

17世紀の美術において、知識、特に古典古代の哲学や思想はどのようなかたちで描かれてきたのでしょうか。ベラスケスによる《メニッポス》は、古代の偉大な哲学者には似つかわしくない、市井の貧しい老人のように描かれています。当時、知識とりわけ古典古代の哲学や思想は、貧困と分かちがたく結びつけられて表象され、理想化されることなく徹底したリアリズムで描かれていました。この章では、ベラスケスのほか、ルーベンスやリベラなどによる古代哲学者を描いた作品を中心に構成します。

第3章 神話

カトリック教会の影響が強かった17世紀のスペインでは、裸体画が不道徳とされたため古典古代の神話が主題として描かれることは稀でした。神話主題には裸体人物像が不可欠であったからです。とはいえ、神話画は多くのスペイン王侯貴族によって収集され、限られた場所で享受されており、ティツィアーノやルーベンスの作品を中心とした壮麗なコレクションが形成されました。一方画家たちは裸体表現において、彼等の技量を自在に発揮し美を追求しました。本章では17世紀スペインの宮廷で制作され、受容された様々な神話画を紹介します。



11) ティツィアーノ《音楽にくつろぐヴィーナス》
1550年頃 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado



12) ペーテル・パウル・ルーベンス、ヤコブ・ヨルダーンス
《アンドロメダを救うペルセウス》1639-41年
マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado

第4章 宮廷

16、17世紀のスペイン宮廷では、国王および国家を称揚するため、また王侯貴族が富や権力を誇示するために、多くの芸術作品が制作され、収集されました。ベラスケスが宮廷画家として仕えた国王フェリペ4世は、稀代のコレクターであり、3,000点を超える数の絵画を収集したとされます。彼はマドリードのアルカサル(王宮)に加え、ブエン・レティーロ宮とトーレ・デ・ラ・パラダ(狩猟休憩塔)という二つの宮殿を造営させ、内部を飾る多くの絵画を国内外から集めました。この章では、肖像画と宮殿装飾という観点から、フェリペ4世の代に描かれ収集された作品を中心に紹介します。



13) アンтониオ・デ・ペレーダ《ジェノヴァ救援》
1634-35年 マドリード、プラド美術館蔵
© Museo Nacional del Prado

第5章 風景

17世紀のスペインにおいて風景画は他のジャンルほど隆盛はみまみせんでしたが、スペインの王侯や絵画愛好家たちの間で人気があり、イタリアやフランドルの当時一流の風景画家たちの作品が大量に輸入され、流通していました。そのような状況の下、スペインでも風景画を手掛ける画家が現われました。ベラスケスの肖像画の傑作《王太子バルタサル・カルロス騎馬像》には、背景にマドリッド近郊の山並みが流麗な筆致と澄んだ色彩で描かれ、優れた風景表現がみられます。この章では、17世紀スペインで受容された風景画の諸相を、フランドルやイタリア、フランスの作品を交えて紹介します。

- 14) クロード・ロラン《聖セラビアの埋葬のある風景》
 1639年頃 マドリッド、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado



第6章 静物

静物画がヨーロッパにおいて一つの絵画ジャンルとして成立したのは、1600年頃のこととされています。スペインの静物画は「ボデゴン」と通称され、宗教的神秘をも感じさせる荘厳な静物画が制作されました。緻密な観察による迫真的な描写と神秘的な明暗表現はスペイン静物画の大きな魅力です。宮廷においても、静物画はフランドルやイタリアの作例とともにさかんに収集されました。本章では、17世紀スペインにおけるさまざまな静物表現を、国際的な文脈の中で振り返ります。

- 15) フアン・デ・エスピノーサ《ブドウのある八角形の静物》
 1646年 マドリッド、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado

第7章 宗教

カトリック教会が対抗宗教改革を推し進めた17世紀は、宗教美術にとって最も実り豊かな時代のひとつでした。教会は、神の教えを正しく、わかりやすく伝え、かつ民衆の心に直接訴えかけるために、美術を最大限活用しました。そのような要請を受けて17世紀初頭にはテネブリズムと呼ばれる明暗のコントラストを強調した写実的な光の表現を特徴とする様式が各地で流行しました。画像面においては、とりわけ熱い信仰を集めた聖母や聖家族、様々な聖人の殉教や幻視といった場面が新たに描かれるようになりました。本章では、スペインを中心に、イタリアやフランドルの作品もあわせ、多様な17世紀カトリック美術を紹介します。



16) ジュゼペ・デ・リベラ《聖ペテロの解放》
1639年 マドリード、プラド美術館蔵
© Museo Nacional del Prado



18) ペーテル・パウル・ルーベンス《聖アンナのいる聖家族》
1630年頃 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado



17) バルトロメ・エステバン・ムリーリョ《小鳥のいる聖家族》
1650年頃 マドリード、プラド美術館蔵
© Museo Nacional del Prado

第8章 芸術理論

17世紀スペインでは、美術を単なる職人芸ではなく知的な学問、高貴な芸術として位置づけ画家の地位向上を目指す運動が盛んになりました。それと並行して美術理論に対する興味が高まり、美術に関する書物が多く著されました。この章では、プラド美術館図書室に所蔵される17世紀の重要な美術理論書の初版本を展示します。会場ではこれらの書籍には独立した章を設けず、1-7章内の随所で関連する絵画作品とともに展示します。

※詳しい情報は当館ウェブサイトをご覧ください。

記念講演会

- 1 7月8日(日)「ベラスケス、フェリペ4世とブラド美術館」 講師:川瀬佑介氏(国立西洋美術館主任研究員・本展監修者)
- 2 8月19日(日)「創意の画家ベラスケス 王の愉しみのために捧げた芸術」 講師:岡田裕成氏(大阪大学教授)
- 3 9月9日(日)「ベラスケス、人と芸術一静かなる絵画革命」 講師:大高保二郎氏(早稲田大学名誉教授)
- 4 9月30日(日)「バロック美術とスペインの黄金時代」 講師:宮下規久朗氏(神戸大学教授)

いずれも当館ミュージアムホールにて 午後2時より(約90分)

聴講無料(定員250名、要観覧券)「芸術の館友の会」会員優先座席あり

学芸員による解説会

6月30日(土)、7月14日(土)、7月28日(土)、8月11日(土・祝)、8月25日(土)、9月29日(土)、10月13日(土)
午後4時~(約45分) 会場:レクチャールーム(定員100名) 聴講無料

おやこ解説会

8月4日(土) 午後1時30分~(約30分) 会場:レクチャールーム 聴講無料 要事前申込(定員20組、先着順)
※7月4日(水) 午前10時より、こどものイベント係(TEL.078-262-0908)で受付開始。

こどものイベント

7月7日(土)、8月25日(土) 午前10時30分~午後3時30分
会場:アトリエ2(定員30名) 参加費:500円(保険料・材料費)、要事前申込
※詳細はこどものイベント係(TEL.078-262-0908)までお問い合わせください。

ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中毎週日曜日 午前11時~(約15分) 会場:レクチャールーム 聴講無料(定員先着100名)

映画特別上映会

7月13日(金)「誰が為に鐘は鳴る」(2時間36分) ①午前10時30分 ②午後2時 一般・シニア800円
9月15日(土)「謎の天才画家 ヒエロニムス・ボス」(90分)
①午前10時30分 ②午後1時 ③午後3時 一般・シニア1,000円
※本展にはヒエロニムス・ボスの作品は出品されません。

記念コンサート

8月26日(日) 出演:エドアルド・デル・リオ・ロブレス(チェロ)、木村能里子(ソプラノ)、植田祐加里(ピアノ)
9月17日(月・祝) ※7月22日から変更になりました 出演:マリア・ルス・リベラ(ピアノ)
いずれも当館アトリエ1にて 午後2時~(約60分) 入場無料(定員150名、要観覧券)

記念イベント フラメンコ・ライブ

9月14日(金) 午後6時~(約60分) 会場:エントランスホール 入場無料
出演:東伸一矩(舞踊)、東伸マヤ(舞踊)、國光秀郎(ギター)、植木美帆(チェロ)ほか

ミニ図録、音声ガイドなど、展覧会をよりお楽しみいただくためのコンテンツを多数ご用意しています。
詳細は公式サイトをご覧ください。 <http://prado2018.yomiuri.co.jp/>

ミニ図録

出品全作品の画像と主要作品の解説を収録し、展覧会のエッセンスがぎゅっと詰まった一冊。[価格]1,300円(税込)

音声ガイド

公式プレゼンターの及川光博さんが、絵画の黄金時代へご案内!(解説ナレーション:平田茉莉)[当日貸出価格]550円(税込)

お問い合わせ先

兵庫県立美術館
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1
 TEL: 078-262-0901 (代) FAX: 078-262-0903 (代)
<https://www.artm.pref.hyogo.jp>

取材・画像提供に関すること

営業・広報グループ

TEL: 078-262-0905 (グループ直通) FAX: 078-262-0903

展示内容に関すること

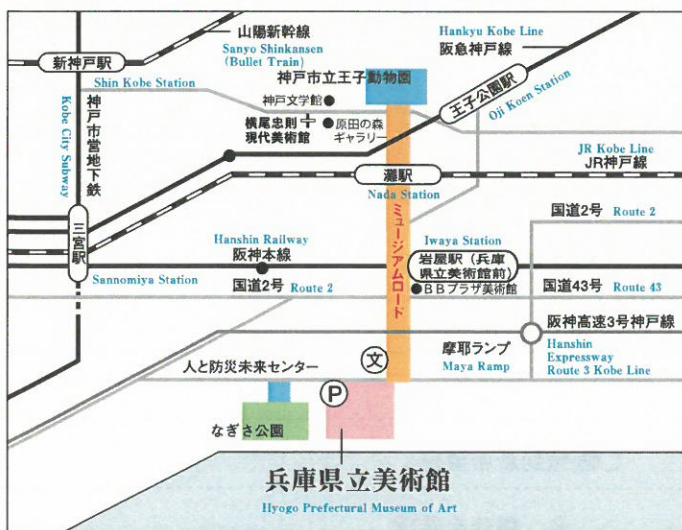
担当学芸員：飯尾由貴子、相良周作、橋本こずえ

e-mail: iio@artm.pref.hyogo.jp

TEL: 078-262-0901 FAX: 078-262-0903

【交通案内】

- ・阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から南に徒歩約8分
 - ・JR神戸線灘駅南口から南に徒歩10分
 - ・阪急王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
 - ・JR三ノ宮駅南から神戸市バス（29、101系統）阪神バスにて約15分
HAT神戸方面行き「県立美術館前」下車すぐ
 - ・地下駐車場（乗用車80台収容・有料）
- *ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください
*団体バスでお越しの場合は、バス待機所のご予約をお願いします。



画像使用に際しての注意

本展の作品画像を、広報素材としてご提供いたします。別紙「広報画像申込書」に必要事項をご記入のうえご返信ください。画像(JPEG)を、メールでご送信いたします。

<画像使用に際しての注意>

- 本展広報目的でのご使用に限ります。ご使用可能期間は本展会終了までとなります。
- 展覧会名、会期、会場名、作品名・所蔵先・画像クレジット（「申込書」参照）を必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。文字を重ねる、トリミングなどの加工・改変・部分での使用はできません。
- WEBサイトに掲載する場合は、コピーガードを施してください。コピーガード対応が出来ない場合には、別画像（同図版）をご用意しております。別紙「申込書」にチェックのうえ提出願います。
- 本展会期中であっても、再放送や転載をされる場合は個別に申請くださいようお願いいたします。
- 基本情報、図版使用の確認ため、グラブリ・原稿の段階で当館の営業・広報グループまでお送りいただきますようお願いいたします。
- 掲載、放送後は必ず、掲載誌、同録テープを、当館の営業・広報グループへ1部お送り願います。
- 画像ご使用後は、データの破棄をお願いいたします。

広報画像申込書 特別展「プラド美術館展」 2018年6月13日(水)～10月14日(日)

※前頁「画像使用に際しての注意」をご一読のうえ、ご希望の画像の番号に○をつけてください。

1	ディエゴ・ベラスケス《王太子バルタサル・カルロス騎馬像》1635年頃 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado ※1点のみ掲載の際には、こちらの画像をご希望ください
2	ディエゴ・ベラスケス《ファン・マルティネス・モンタニエースの肖像》1635年頃 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
3	ディエゴ・ベラスケス《メニッポス》1638年頃 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
4	ディエゴ・ベラスケス《マルス》1638年頃 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
5	ディエゴ・ベラスケス《狩猟服姿のフェリペ4世》1632-34年 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
6	ディエゴ・ベラスケス《バリエーカスの少年》1635-45年 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
7	ディエゴ・ベラスケス《東方三博士の礼拝》1619年 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
8	フランシスコ・デ・スルバラン《磔刑のキリストと画家》1650年頃 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
9	アロンソ・カーノ《聖ベルナルドゥスと聖母》1657-60年 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
10	ヤン・ブリューゲル(父)、ヘンドリック・ファン・パーレン、ヘラルト・セーヘルスら《視覚と嗅覚》1620年頃 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
11	ティツィアーノ《音楽にくつろぐヴィーナス》1550年頃 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
12	ペーテル・パウル・ルーベンス、ヤーコプ・ヨルダーンス《アンドロメダを救うペルセウス》1639-41年 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
13	アントニオ・デ・ベレーダ《ジェノヴァ救援》1634-35年 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
14	クロード・ロラン《聖セラピアの埋葬のある風景》1639年頃 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
15	ファン・デ・エスピノーサ《ブドウのある八角形の静物》1646年 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
16	ジュゼペ・デ・リベーラ《聖ペテロの解放》1639年 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
17	バルトロメ・エステバン・ムリーリョ《小鳥のいる聖家族》1650年頃 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado
18	ペーテル・パウル・ルーベンス《聖アンナのいる聖家族》1630年頃 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado

●貴媒体についてお知らせください。

○貴社名：

○媒体名：

(新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・ウェブサイト・その他)

※ウェブサイトへ掲載ご予約の場合、いずれかに○をつけてください。 コピーガード対応 可 ・ 不可

○ご担当者名：

○メールアドレス：

ご連絡先 ○電話番号：

○FAX 番号：

○ご住所： 〒

○URL：

○掲載・放送予定日：

○画像到着希望日：

○読者・視聴者プレゼント用招待券： 組 名 様分を希望

(最大5組10名まで。本展を**広報画像も併せて**媒体でご紹介いただける場合に限りです)